

2013年4月1日
株式会社日立製作所
東京電力株式会社

日立と東京電力が海外送配電分野における コンサルティング・エンジニアリングの新会社を設立

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)と東京電力株式会社(執行役社長:廣瀬 直己/以下、東京電力)は、日立が保有する送配電分野におけるシステムソリューション技術と、東京電力が保有する送配電設備の計画・運用・保守に関するノウハウを融合し、送配電分野におけるコンサルティング・エンジニアリングを海外へ展開する新会社「THE パワーグリッドソリューション株式会社」を設立し、本日、2013年4月1日より営業を開始します。

新会社は、日立が米国や英国などで手がける再生可能エネルギー導入に伴う需要家参加型の地産地消実証などのプロジェクトにおける、計画立案コンサルティングや現地調整エンジニアリングなどの支援をベースとして取り組みます。これらの取り組みの実績を踏まえて、将来的には海外送配電分野における企画立案、計画コンサルティングから現地調整、運転・保守までのトータルソリューションの型を確立し、グローバル展開を視野に入れた検討をしていきます。

日立は、高信頼・高効率な情報・通信システム技術に支えられた社会インフラを提供する「社会イノベーション事業」のグローバル展開を加速させています。送配電分野においては、国内を中心に豊富な納入実績がありますが、海外各地域のニーズに合わせて国内外のさまざまなインフラ事業者やソリューションパートナーと連携することで、設備計画から運用・保守サービスに至るまでのトータルソリューション力の強化によりグローバルに事業を拡大していきます。

東京電力は、2012年11月に策定した「改革集中実施アクション・プラン」において、「メーカー・金融機関等と提携し、当社海外コンサルティング事業の知見・ノウハウを活用した電力システム輸出実現の体制を構築」という方針を掲げています。とりわけ送配電分野については、東京電力は、技術・ノウハウのインテグレーターとして、メーカーが電力システム輸出を実現していく上で、その下支えをする体制を構築するため、様々な検討を進めているところです。今般、それらの取り組みの一環として、日立と新会社を設立し、新会社への送配電設備の計画・運用・保守に関するノウハウの提供を通じて、海外における送配電事業に関する知見を蓄積し、海外での収益拡大に向けた事業基盤を強化していきます。

■新会社の概要

会社名	THE パワーグリッドソリューション株式会社
設立年月	2013年4月1日
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3番地
代表者	代表取締役社長 森田 清紀
資本金	5千万円
株主	日立(85.1%)、東京電力(14.9%) (設立時)
従業員数	6名 (設立時)
事業内容	海外送配電分野におけるコンサルティング・エンジニアリングの提供 (再生可能エネルギー導入に伴う需要家参加型の地産地消実証への支援)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
